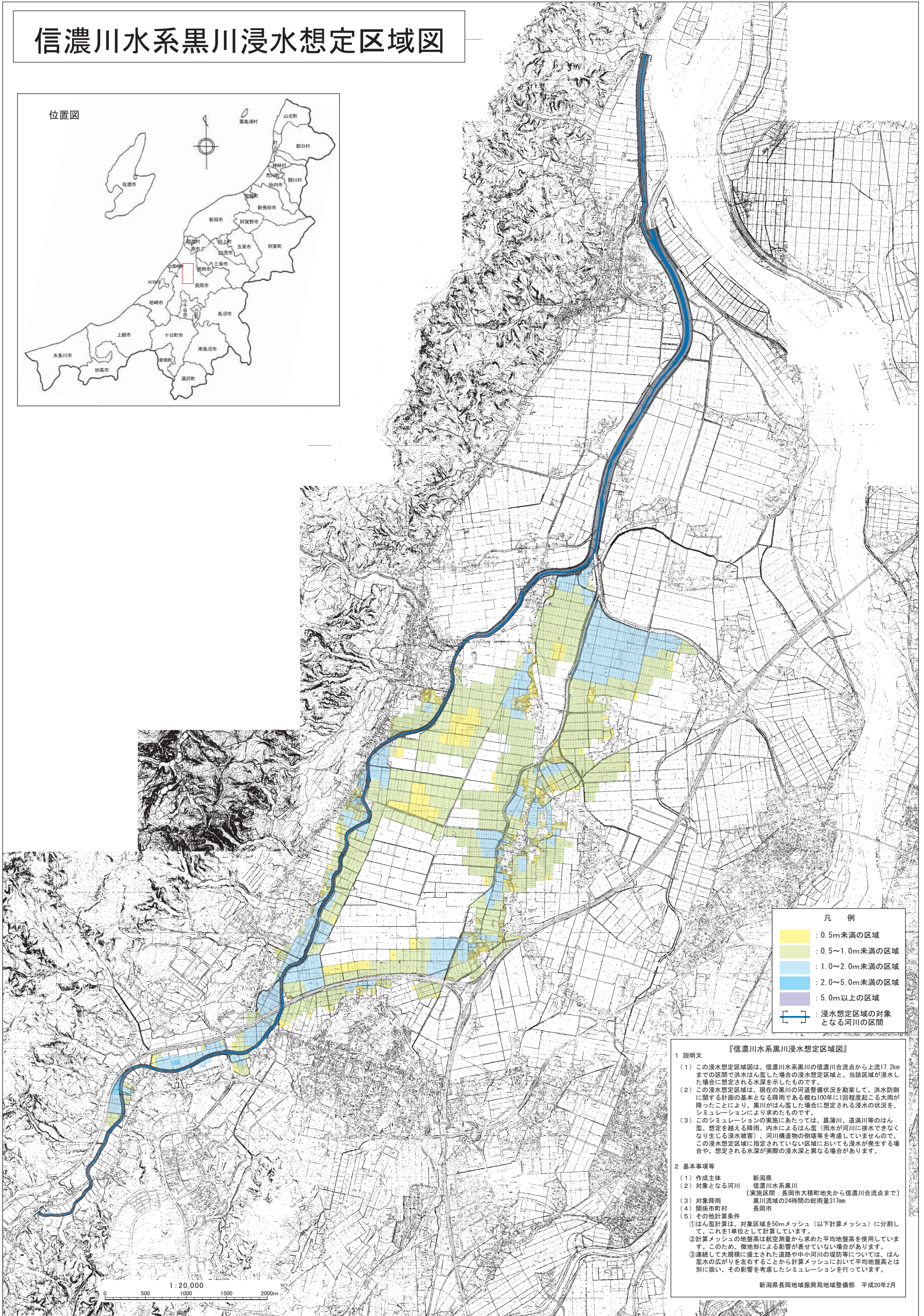


# 信濃川水系黒川浸水想定区域図

位置図



凡 例	
	: 0.5m未満の区域
	: 0.5~1.0m未満の区域
	: 1.0~2.0m未満の区域
	: 2.0~5.0m未満の区域
	: 5.0m以上の区域
	: 浸水想定区域の対象となる河川の区間

## 『信濃川水系黒川浸水想定区域図』

- 1 説明文
- この浸水想定区域図は、信濃川水系黒川の信濃川合流点から上流17.2kmまでの区間で洪水はん蓋した場合の浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を示したものです。
  - この浸水想定区域は、現在の黒川の河道整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね100年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、黒川がはん蓋した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
  - このシミュレーションの実施にあたっては、葛蒲川、道満川等のはん蓋、想定を超える降雨、内水によるはん蓋（雨水が河川に排水できなくなり生じる浸水被害）、河川構造物の倒壊等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- 作成主体 新潟県
  - 対象となる河川 信濃川水系黒川  
〔実施区間：長岡市大積町地先から信濃川合流点まで〕
  - 対象降雨 黒川流域の24時間の総雨量317mm
  - 関係市町村 長岡市
  - その他計算条件
    - はん蓋計算は、対象区域を50mメッシュ（以下計算メッシュ）に分割して、これを1単位として計算しています。
    - 計算メッシュの地盤高は航空測量から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
    - 連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、はん蓋水の広がりや左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。
- 新潟県長岡地域振興局地域整備部 平成20年2月

1 : 20,000  
0 500 1000 1500 2000m